

# misa

Miyagi Information Service Industry Association  
県内企業・情報サービス業のコミュニケーション情報誌



我家の庭に咲いたペニチュア 撮影：ハリウコミュニケーションズ(株) 高橋 宏治

## CONTENTS

- |   |                                    |  |
|---|------------------------------------|--|
| <b>02</b> 東日本大震災のお見舞い                                 | <b>07</b> 一般社団法人として新たなスタートへ        | <b>12</b> 平成22年度「富県宮城グランプリ」受賞決定          |
| <b>03</b> 新春講演会・賀詞交歓会 会長挨拶                            | <b>08</b> 平成23年新春講演会 講演会要旨 夢に向かって  | <b>13</b> 第13回MISA親睦ボウリング大会              |
| <b>04</b> 平成23年賀詞交歓会 来賓ご挨拶                            | <b>09</b> 平成23年新春講演会・賀詞交歓会開催報告     | <b>13</b> 第19回MISA親睦ゴルフ大会                |
| <b>07</b> 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会<br>「中期事業計画(H23~H25)」が確定 | <b>10</b> 「宮城県IT企業データベース」の改良について   | <b>14</b> 東北ITソリューションEXPO2010 グラフで見る結果報告 |
|   | <b>11</b> MISAの主な事業計画              | <b>16</b> 新入会員紹介・皆で飾ろう!MISA情報誌<br>編集後記   |
|   | <b>12</b> 人財育成活用分科会「若手交流会(次世代交流会)」 |  |

■発行／社団法人 宮城県情報サービス産業協会  
仙台市青葉区上杉一丁目7-7-903  
TEL 022 (217) 3023 FAX 022 (217) 3055  
e-mail:misa@misa.or.jp

■URL／<http://www.misa.or.jp>

■企画・編集／企画・広報委員会

■印刷／ハリウ コミュニケーションズ株式会社

## 東日本大震災のお見舞い

この度の東日本大震災において被災されました皆様方に対し、謹んでお見舞い申し上げます。

3月11日午後2時46分に発生した宮城県沖を震源としたM9という巨大地震は、東日本沿岸を中心に大きな被害をもたらしました。これは阪神淡路大震災を超えた未曾有の規模であり、家族や家屋を失った多くの方々に対し改めて哀悼の意を申し上げますと共に一日も早い復興をお祈りいたします。

復興には長い期間を要すると思われませんが、国を挙げての復旧作業は急ピッチで行われており、世界中の人々もこれまでのあらゆる逆境を乗り越え力強く立ちあがってきた日本に対し復興への大きな期待が望まれています。被災地域のIT関連企業団体(MISA)としてもこれらの復興支援に対し、行政機関や関連団体等との連携のもと、可能性を追求しながら積極的な対応を展開してまいりたいと存じますので、会員各位のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

また、この震災による地域経済への影響は計り知れないものであり、私共IT業界にとっても経営環境の先行き不透明感から会員各位のご心労はいかばかりかと察いたします。

しかし、朝が来ない日はございません。こういう時にこそ会員皆様の知恵・力を結集し、希望をもってこの試練に立ち向かっていこうではありませんか。

頑張ろう!日本、東北、宮城

社団法人 宮城県情報サービス産業協会  
会長 石塚 卓美

## 新春講演会・賀詞交歓会 会長挨拶

社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 石塚 卓美



皆さん、明けましておめでとうございます。皆様と一緒にこのように新春を迎えられますことをまずもってお慶び申し上げます。

本日は、当協会の新春講演会・賀詞交歓会開催に、ご来賓の皆様をはじめ多数の会員の皆様にお忙しい中ご出席いただきまして誠に有り難うございます。

また、旧年中は当協会の事業活動に対しまして、いろいろとご支援ご協力を賜りまして、あらためて厚く御礼申し上げます。

さて、日本の経済ですが、この正月の新聞に載ったいろいろな方の今年1年の景気予測ですけども、集約しますと前半は円高あるいはエコポイント、エコカーの景気浮揚策等の終了の影響もあり足踏み状態が続くが、後半は回復局面に向かうというのが大方の見方ではなかったかなと思います。ただ、前提条件が政局が安定すればということですが、いずれにいたしましても早い景気回復を願うところでございます。

東北経済につきましては、中央から遅れて回復するのが通例でございますので、まだ当分は厳しい状況が続くことが予測されます。ただ、東北には明るい話題もございまして、皆さんご承知の通りセントラル自動車がついに先週に操業を開始しましたし、東京エレクトロンさんもこの4月には操業開始する予定となっております。その他、自動車部品関連あるいは半導体関連等の多くの工場が建設途上にあり、地域社会、地域経済に及ぼす効果は相当大きいものとみられております。また、新幹線も青森まで開通し、東北への観光客が大幅に増えるのではないかとというような期待もございまして、

このような状況にあります。我々地域IT業界を取り

巻くビジネス環境も大きく変わりつつあります。その一つは、システム開発需要の首都圏へのますますの集中化や、地域が支えてきた大手ベンダーさんや大手SIさんの開発業務の外国へのオフショア化等により、地域の仕事が減少する方向に構造が変わってきていることでございます。もう一つはクラウド等の普及進展により、システム開発も受託開発型からサービス提案型に、そしてユーザーさん側では、システムを持つから使う形態に変わりつつありますし、多機能端末や多機能携帯の普及といった大きな環境変化を迎えております。

このような状況変化の中で、我々地域IT業界には、自社のビジネスモデルをもう一度しっかり見直して、いかにこの構造変化に迅速的確に対応していくかが今まさに求められている時ではないのかなと思います。変革の時期は確かに厳しいものがありますが、反面チャンスでもございます。チャレンジが変革を生み、必ずや将来の発展に繋がっていくものと確信しております。「三人寄れば文殊の知恵」という言葉がありますが、こういう時にこそ個々の企業体では対応が難しい課題に、個々の企業の枠を超えて取り組むことがますます重要ではないかと思っております。

さて、平成23年の干支は、ご存じのように卯年でございます。語源は「茂」の意、方角は「東」を指し「春めき草木が地面を茂りだす」状態を表すとされております。また、素早い動きとジャンプ力のうさぎは、諺に「うさぎの上り坂」とあるように良い方向に進む躍動感ある生き物ということで、卯年は進歩の年とも言われております。

この干支にあやかるわけではございませんが当協会としても、会員の一層の連携による事業活動を通し、少しでも進歩ある年としたいと願っている次第でございます。





また、今年是一般社団法人として再スタートする年でもあります。新たに策定した次期中期事業計画を基に、重点課題を着実に実践していくと共に、魅力ある地域IT業界を目指して会員の皆様と一緒に取組んでまいり所存であります。

どうか今年も会員皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日の新春講演会は、英語教育システム事業をされている有限会社ブルース・インターフェイス代表取締役ブルース・ウィットレッド氏に「夢に向かって」をテーマに、

お話を伺うこととおします。同氏は自らを『夢の伝道師』と称し、やれば出来るというメッセージを広めるための講演会でも活躍されておりまして、今日は得意のパフォーマンスを交えてのお話ということで楽しいひと時を過ごしていただければ幸いです。

ブルース・ウィットレッド氏には、お忙しいところ誠に有難うございます。どうかよろしくお願い申し上げます。

それでは最後になりましたが、今年が皆様そして会員各社にとって良き年になりますよう祈念申し上げます、私の年頭の挨拶といたします。有難うございました。

## 平成23年賀詞交歓会 来賓ご挨拶

東北経済局 地域経済部長 寺家 克昌 様



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、石塚会長をはじめ、社団法人宮城県情報サービス産業協会会員の皆様には、経済産業施策の推進にあたり、御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年の東北地域経済を顧みますと、前半は、エコカー補助金等の政策効果や新興国需要の伸び等を背景に持ち直しが続いてまいりましたが、秋以降は政策の終了や円高等から足踏み感が強まり、現在に至っています。また、中長期的な観点からは、円高を背景とした生産拠点の海外移転など多くの課題を抱えている状況にあります。

東北経済産業局におきましては、昨年は、皆様方の御支援や御理解のもと、成長セクターへの設備投資助成やサポーターイングインダストリーへの支援、地域中小企業の海外展開支援といった新成長戦略実現に向けた施策を実施してまいりました。一例を御紹介しますと、成長セクターへの設備投資助成では、全国153事業のうち東北地

域で19事業を採択し、これにより新たに200~300億円規模の設備投資が行われることが見込まれています。また、政府では、長年の懸案であった法人税率の引き下げを実質減税として実現させたところであります。

本年はこれらの政策を踏まえながら、さらに東北地域の発展を目指した国内投資促進策を展開することとしております。

さて、昨年のIT産業においては、情報化投資の抑制傾向の中で、厳しい状況が続きましたが、一方で、SaaSをはじめとしたクラウドサービスが開始され、電子書籍などの新型端末が市場に投入されるなど、新しい情報通信サービスが展開されています。

こうした状況を踏まえ、今後一層加速するものと予想される、消費行動や社会の仕組みの変化など、新たな潮流への適確な対応が極めて肝要であると思料しております。

貴協会におかれましては、「東北ITソリューション



EXPO」の開催や中古パソコン・リユース事業等の社会貢献活動、また、学生・企業向けの人材育成や地域定着化を図るための人材確保事業など、業界を取り巻く課題解決に向けた事業に取り組まれていることに対し、心から敬意を表する次第です。引き続き、地域の情報産業振興、ひいては地域活性化のために御尽力いただきますよう御期待申し上げます。

東北経済産業局といたしましても、平成23年度も引き

続き地域におけるIT活用を促進し、ITベンダとITユーザーの相互連携から地域特性を生かしたイノベーション創出の基盤形成を図るべく、施策を展開していくこととしておりますので御支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、社団法人宮城県情報サービス産業協会並びに本日御参会の皆様方の更なる御発展と御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 平成23年賀詞交歓会 来賓ご挨拶

宮城県企画部長 佐藤 弘嗣 様



新年明けましておめでとうございます。

MISAには、地域の情報化あるいは情報産業の振興ということで多彩な活動に対しまして改めて敬意と感謝を表する次第です。宮城県の企画部では国勢調査も担当しておりまして、先日発表した結果は、県の人口が234万7784人で5年前より1万2000人くらい減少しております。率にしてマイナス0.53%ですが東北全体を見ますと3~5%のマイナスとなり、総数で約30万人が減少したことになります。これは中堅都市一つ分が失われるということで東北の消費市場の縮小が非常に心配されるところでございます。とはいえ、人口減少は少子化も相まって加速化される傾向にあります。人口が減りますと経済の活性化にも大きな影響が懸念されますし、国内や地域間での人の奪い合いも熾烈になっていくのではという感じがしております。そういう意味で宮城県では0.53%ということで仙

台都市圏がまだ人口が増えていますので他県に比べて減少率が少なかったわけですが、今後ますます魅力ある地域作りというか、人を惹きつけられる宮城県にしていかなければということで決意を新たにしております。この人口減少の中で、本当に働く場を含め魅力ある地域になっていくには、やはり、IT技術の活用そしてIT関係産業の振興が非常に大きな役割を果たしていくのではないかと考えております。IT技術を駆使した魅力ある社会づくりを目指して、ぜひMISA会員企業の尽力、力をお借りしたいと思っておりますし、県内IT企業の発展が成し遂げられれば、これに勝るものはないであろうと思っております。そのためには、県といたしましても新商品の販売促進、セントラル自動車や東京エレクトロンといった自動車や高度電子産業の企業集積が進む中での仕事の地元拡大へのお手伝い、また雇用確保ということでIT





関係の人材育成事業にも継続して取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくご協力をお願い申し上げます。

今日は、新年のはじめでございます。MISAのご発

展と会員企業の皆様方の今年一年の躍進をご期待申し上げますと共に、本日ご参会の皆様のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 平成23年賀詞交歓会 来賓ご挨拶

仙台市経済局産業政策部長 福田 洋之 様



新年明けましておめでとうございます。

日頃の協会の皆様方のご活動に對しまして改めて敬意を表しますと共に仙台市の様々な施策に對しご協力いただいておりますことに御礼申し上げます。

さて、今年は穏やかなお正月を迎え、仙台の初売りも例年と比べますと非常に賑わったということで良いスタートが切れたのではと思っております。

昨日、セントラル自動車様の第一号車が完成し、金沢村田製作所様も最近のスマートフォンの需要拡大に對し一旦ストップしていた工場を再稼働しております。そして4月には、東京エレクトロン様も工場の稼働開始を予定しているということで情報サービス産業に関わっている皆様方にとっても明るい兆しが見えてきているのではないかと思います。

仙台市では、現在、平成23年度から10年間の総合計画を策定中ですが、経済活動における量的な拡大が厳しくなっている中、商品あるいはサービスの高付加価値化や都市のいろいろな課題解決のためには情報サービス産業をはじめとする創造産業、クリエイティ

ブ産業の振興がますます重要になってくるものと位置付けております。そうした認識の下で仙台市といたしましても、仙台ソフトウェアセンターを通じたITをはじめとする人材育成やMISA様にもご協力いただいております仙台クリエイティブ・クラスター・コンソーシアム等の組織活動を通して様々な支援を行ってまいりたいと考えております。

また、昨年の2月に、仙台市も支援させていただいている東北大学大学院工学研究科情報知能システム研究センター（IIS研究センター）が開設され、組込みシステムをはじめとした様々な分野において、地域企業が参加できる研究開発型競争的資金の獲得や研究開発試作品の地元企業への発注に関して実績を上げてきております。まだ開設1年ではございますが、今後も引き続き、本センターを通じて、地域の皆様方を支援していきたいと思っております。

最後になりますが、協会のますますのご発展、そして会員企業の皆様方、ご参会の皆様方のご発展、ご健勝をお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。



# 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 「中期事業計画（H23～H25）」が確定

中期事業計画

当協会では、Vision委員会において会員企業と地域経済の持続的な発展を目的に3力年の活動方針「中期事業計画」検討してきましたがこの度、確定いたしました。

今回の「中期事業計画」はVisionを『交流・連携・共創による変革の場へ』～活力と魅力に満ちた地域IT産業の実現を目指して～と掲げ、『共通する経営課題への取組み』『会員の事業強化・事業創出の促進』『MISA事業活動の推進』を3本柱に各委員会が現状認識のもと目指す姿を明確にし、推進すべき具体的な事業内容について述べています。



本「中期事業計画」の内容を各年度の事業計画に反映することによって、会員の主体的な参加のもと、会員企業や地域社会の多様なニーズに對した事業活動を展開してまいりたいと存じますのでご協力をお願いします。

(詳細は配布本書を参照願います。)

## 一般社団法人として新たなスタートへ

MISAは、6月の総会で正式承認いただき、平成23年7月1日付をもって一般社団法人宮城県情報サービス産業協会として新たなスタートを開始する予定です。一般社団法人とは、政府の新公益法人制度改革に伴い、従来の社団あるいは財団法人は平成20年12月1日の法律施行後、5年以内に「公益」か「一般」のいずれかに移行しなければならないと決められており、当協会としてはその方向性の検討結果を第16回通常総会に提案し、「一般社団法人」へ移行することで承認を頂き申請作業に入りました。その後、宮城県公益認定等審議会で審議・認可を頂き当初4月1日に新法人として切り替わる予定でしたが、「東日本大震災」の影響で遅延となったものです。

なお、一般社団法人としての今後の運営は、①通常総会（事業報告・役員改選等の承認）は年1回（6月）②事業計画に関わる承認は理事会（3月予定）が主な変更となります。

今後共、会員による会員のための共益活動を主体に推進すると共にその成果を会員のみならず広く一般にも公開していくことにより、公益の増進にも寄与していくことといたします。会員各位のご協力に對し感謝申し上げますと共に変わらぬご支援・ご協力をよろしくご協力いたします。



## 平成23年新春講演会 講演会要旨 「夢に向かって」

ブルース・ウィットレッド 氏



## 1. やれば出来る

私は、11年前北海道から沖縄まで4ヶ月かけて走りました。当然、一度もマラソンの経験がないものですから周りから「それは無理、不可能だ」と言われました。医師も私の足を見て「毎日40キロはその足では無理」とはっきり言われました。しかし、成功するプロセスは、そんなに難しいことではない、先を読んでそれに合わせて努力して、その勢いがついてくる行動にあると思いました。今の状態で判断してしまうと当然暗くなります。不景気もそうです。足の筋肉が出来てないから無理だと思えば到底マラソンが出来るわけがないと思ってしまいます。成功する人はそうじゃなくて「毎日40キロを継続していけば誰だって走れるはず」と考えます。環境と繰り返して毎日40キロを走り続ければ40キロに対応できる足づくりが出来てきます。

当然最初の3ヶ月は苦勞の連続です。痛みにもう我慢が出来ない、動けない、松葉づえを買って進んだ日もありました。不思議なことに岩国、下関あたりに来た頃にはランニングハイという言葉があるのですが、いくら走っても平気。逆に一日午前中に50キロ走ってももっと走りたいと思うようになっていたのです。那覇についた時、マスコミのある記者から私の足を見て「その足だから出来た」と言われましたが、その足はマラソンを続けたことで「出来あがった足」と見え、それが現状判断なのです。今の状態を見て判断するのではなく、目標・ビジョンを持ち先を読んで、それに合わせて工夫努力していけば勢いがついてきて、いい方向に行くということです。誰でも「やれば出来る」のです。

## 2. 改善パワーと3ヶ月

私たちのDNAには生まれながらにこの「改善パワー」がインプットされています。赤ちゃんを見ると、生まれて何ヶ月か経つとハイハイがしたくなって、立ち上がりたくなって、歩



きそして走りたくなって。どんどん環境に応じて進歩していくのは人間を含め生物の姿なのです。私は中学二年の時に理科が嫌い、先生も嫌いだったので成績はビリでした。カナダでは一つの科目が合格点に達しなければ進級できません。ある日先生から「ある約束を3ヶ月続けたら合格させる」と言われました。それは毎日先生から出された理科のプリントをちゃんと書いて出すというもので、3ヶ月で合格できるのならと思いい約束をしました。ところが1ヶ月経つと下から10番目、すごいなと思って2ヶ月経つと上から10番目、誰々より上がったとか3ヶ月経つと見事にトップになり、理科も先生も何も変わっていないのに理科も先生も好きになっていたのです。これはたった3ヶ月の私と私の行動によって私自身が変わったということで、人の行動によって先が変わる、つまり3ヶ月継続すればそれに対応した「改善パワー」が生まれると言うことなのです。

## 3. 二つの生き方

良く言われることに二つの生き方として「手漕ぎボートの生き方とヨットの生き方」があります。手漕ぎボートは後ろを見ながら先に進む。つまり過去を見ながら進んでいるのでいいところに生まれれば良かったとか、いい学校に行っていればとか、年齢が上がれば上がるほど暗くなる。ヨットは、風を利用して前を見て進みます。これからのこと、これからの目標、これからの楽しみ、これからの夢、今までは練習、これからが本番という生き方です。世界は不思議さでいっぱい。心臓は私たちを守るために無意識のうちに動き続けています。太陽は何万年も前から燃え続けていますし、その周りを地球が超高速でまわっています。宇宙では惑星が輝き、星雲が生まれブラックホールが周りの光を吸い込んでいる。そういう無限の不思議な世の中、私たちの目の前に無限の可能性に満ちた美しい未知が広がっています。MISAのためにもその無限の可能性が目の前に広がっているのです。どうか「ヨットの生き方」で夢のある環境を作りましょう。

## 4. チャレンジ

人の行動は、好きか嫌いではなく、出来るかできないかでもなく、やるかやらないかの選択肢ですので、いわゆる因果応報です。まかぬ種は生えぬ、成せばなる、適当な生き方をすると適当な結果、つまり意識して生きることが大事なのです。会社も同じ、当然商売も同じ、お客様のニーズを把握しその商品あるいは物、ソフトウェアを提供するのではなく満足感を提供する。満足すれば当然仕事がいい方向に行きます。やるかやらないかというコンセプトを分かって、しかもそれを

商売に繋げればベストです。とにかく「何でもできる」というそういう気持ちを持って行動すれば必ず道が開けます。

私の家は当時それほど裕福でなく大学の学費は自分で工面するしかありませんでした。私は趣味は一輪車をやっていたので何とかこれを活かせる工夫がないか考えました。

企業のスポンサーのよくある大きな祭り、車の日産、ナイキ、コカコーラ等何百万払って目立つような広告をやっている。私だって趣味の一輪車のパフォーマンスで企業PRが出来るはずと思い、早速賛同する企業訪問に入りました。ところが世間はそれほど甘くなくある会社に行って社長さんと話したいと言ったら、忙しいの一言で受付で終わりです。次の会社も同じ、3、4、5、6、7……30社回っても同じ、追い返され31社目である社長さんが「面白いアイデアですね。わかった、とりあえず1万円やるから、やっている証拠写真を持ってきてください」と言われました。とにかく満足感が大事だと思い大きなイベント会場を調べ、マスコミやカメラの位置等を念頭に企業の広告を身につけ一生懸命一輪車のパフォーマンスをやったら、次の日の新聞一枚目に私の写真がドーンです。その証拠写真を社長さんに持っていったら「さすが」と大喜び、その後その会社がスポンサーで毎日のようにお祭りに行ってパフォーマンスです。お祭りは夏に集中していますから短期間で3年分の学費を作ることが出来ました。何事も「チャレンジ」なのです。

## 5. ITの活用

私は今、英会話の事業をしています。英会話は環境と繰り返し大事です。これまでの英会話はほとんどが外人教師です。外国人がいなくてもいるような自然な環境での教育システムが作れないか考えました。やっぱり今の時代ですからITを使うのは当然です。

大事なのは先生を中心とした双方向性つまりオンデマンド型にしなければいけない。そこで独自のアイデアで7年かけて開発、特許を取りこれからお見せするのが開発したシステムです。お陰様で現在、全国450教室に入っていて、韓国50教室、去年からはモンゴルにも入っています。ITを駆使すればこれだけのものが可能になるのです。



## 平成23年新春講演会・賀詞交歓会開催報告

新春恒例の賀詞交歓会が平成23年1月13日(木)パレス平安において東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様200名の出席のもと開催されました。

はじめに、協会を代表し石塚卓美会長より、新年の挨拶があり、(有)ブルースインターフェース代表取締役のブルース・ウィットレッド氏に「夢に向かって」と題して得意のパフォーマンスを交え講演を頂きました。引続き交流会に入り、ご来賓の皆様よりご祝詞をいただいた後、大森人財育成委員長の乾杯の音頭に

より懇談となりました。

新春独特の華やかさも加わり、講演いただいたブルース・ウィットレッド氏にも出席いただき始終和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。中締めは当協会顧問、仙台応用情報学研究振興財団 理事長の野口正一氏に三本締めの音頭をとっていただき盛況裏に終了することが出来ました。ご来賓、そして会員の皆様の多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。



技術報告

# 「宮城県IT企業データベース」の改良について

MISA事業共創委員会では、MISA会員企業の概要を内外に情報発信して、共同事業や受注促進につなげるため、2008年に「MISA企業データベース」<http://www.misadb.jp/>を構築いたしました。社名や専門分野、保有資格、自由なキーワード等で絞り込み検索を行い、企業情報を閲覧してもらえるようにするWebサイトです。

この度、さらに活用されやすくなるため、会社名やサービス等でネット検索を行った際に、本サイトと会員企業情報が上位に表示されるように、SEO（検索エンジン上位表示）対策を中心に改良を行いました。

■主な改善点

●SEO（検索エンジン上位表示）対策

- ・トップページで本データベースの説明
- ・トップページのメタ情報の改善
- ・トップページの五十音順リンクでロボットを誘導
- ・トップページの検索時に途中に検索ボタンを置きました。
- ・一覧ページで複数ページへのリンクでロボットを誘導
- ・各企業ページでページタイトル（ブラウザ上部帯に表示）の変更
- ・各企業ページでメタ情報の改善
- ・一覧ページ、各企業ページで、パラメータURLを静的URLに変換
- ・Yahooカテゴリへの登録

●その他

- ・サイト名に「宮城県IT」を加えました。
- ・本文の文字を大きくしました。
- ・メールアドレスの画像化はスパム対策ですが、一般人にわかるよう注釈をつけました。
- ・会社情報が「いつの時点」のものかわかるように、最終更新日の追加を行い、情報の新鮮さをアピールできるようにしました。
- ・各企業が情報を最新のものにできる管理用ページも、どのように入力し、どのような効果があるのか、説明を加えました。
- ・「企業向け更新マニュアル」も作成しました。

■会員企業へのお願い

- ①各企業とも最新の企業情報に更新をお願いします。
- ②検索エンジン対策で全体をランクアップさせるため、各企業のホームページに本サイトへのバナーを貼ってください。
- ③さらに役に立つサイトを目指して、今後、工夫を重ねていきたいので、ご意見等ございましたら、ぜひお寄せください。



## MISAの主な事業計画（予定）

【企画・広報委員会】

- ・第一回総会・講演会 6月
- ・情報誌発行（第30号、第31号） 9月、3月
- ・東北ITソリューションEXPO2011開催 10月18～19日
- ・賀詞交歓会・講演会 1月
- ・委員会間調整会議 5月、8月、11月、2月

【経営委員会】

- ・経営者層研修会 11月
- ・社労士セミナー 7月、2月
- ・経営者層情報交換会（MISA交流サロン） 7月、9月、11月、3月
- ・ワークライフバランスセミナー（女性対象） 5月、11月
- ・親睦ゴルフ大会 10月

【人財確保推進委員会】

- ・会社合同就職説明会 10月
- ・産学共同実践的IT教育事業 4月～3月
- ・産学人材育成パートナーシップ事業 4月～3月
- ・長期インターシップ事業 随時

【人財育成委員会】

- ・新入社員研修会 4月～5月
- ・中堅社員研修会 5月、9月、11月
- ・技術向上セミナー 9月
- ・次世代交流会 6月、9月、12月

【福利厚生委員会】

- ・第14会親睦ボウリング大会 10月
- ・会長杯フットサル大会 11月
- ・同好会（釣り） 11月
- ・ヘルスクエアセミナー 12月

【事業共創委員会】

- ・企業情報データベース活用検討会 随時
- ・異業種交流会への参画（フロネシス21） 随時
- ・富県宮城推進会議幹事会 5月、9月、2月
- ・産学情報交換会 随時

- 【共通】・Vision推進会議 随時 ・政策提言ワーキング検討会 5月、1月 ・IT業界次世代人材育成事業 4月～3月

The advertisement features a blue background with a large water drop graphic on the right. The text reads: 'このたびの東日本大震災にて 被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。 皆さまの安全と一日も早い復興のお役に立てるよう、 当社も東北電力企業グループの一員として、 更なる努力を続けて参ります。' Below this, it says '東北電力企業グループ 東北インフォメーション・システムズ株式会社'. At the bottom, there are several certification logos including JAF, JQA, ANAB, BSI, and others, along with the website URL 'http://www.toinx.co.jp' and a search button.



## 人財育成活用分科会 「若手交流会(次世代交流会)」

人財育成委員会

人財育成委員会では、人財育成活用分科会として「若手交流会」を開催しています。「若手交流会」は、次世代を担う若手の方に他社との人的交流或いは情報交換の機会を提供し、今後の各企業の活動に生かして頂きたいという趣旨の基、平成14年に「人材開発若手交流会」としてスタートしました。初回は実験的試みという意味合いも含め、セミナーを中心とした構成で開催させて頂きました。その後、参加頂いた方のご意見に基づき、若手同士のディスカッションをメインに開催する形態と形を変え、現在ではその題材となるディスカッションテーマ選定から進行に至るまで参加して頂いている若手が中心となり実施しております。毎年度、参加企業15社以上、若手20名以上が参加し継続して開催をさせて頂いております。

参加頂いた方々からは、「会社間の垣根なく、自分以外の同世代の方が日々抱える悩みや問題、プロジェクトリーダーとして成長するためのヒント、目標等、その想いを共有出来た事は、自身の今後に生かせると思う」との感想を頂いております。

また、「同じ様な思いを共有出来る仲間と知り合える場であった事、それが何よりも有意義であった」との感想も頂いております。

また、交流会は二部構成となっており、第二部は懇親会としてビュッフェスタイルでの軽い飲食を交えて行っています。懇親会へは人財育成委員会の委員もオブザーバーとして参加し、職責・年齢幅を広げた交流の場として、意見交換、情報交換の場として活用頂いております。

今年度からは「次世代交流会」と名称を変えての開催となりますが、引き続き次世代を担う各社の社員の方に共通する内容をテーマとし、参加者が刺激を受け合い、各々が切磋琢磨する事により、ひいてはMISA全体の活性化への一つの足がかりとして活用出来る場として開催していきたいと考えております。



## 平成22年度 「富県宮城グランプリ」受賞決定

去る3月7日、当協会推薦の正会員・株式会社コンピュータシステム研究所(CST(代表取締役社長 長尾 良幸))様が顕著な業績による地域経済への貢献が評価され、宮城県経済商工観光部より企業部門として見事「富県宮城グランプリ」の受賞決定の通知がありました。

「富県宮城グランプリ」は、本県産業の発展や地域経済の活性化に対する貢献が顕著な企業、個人、団体を表彰することによって「富県宮城の実現」に向けた機運醸成を図ることを目的に、平成20年度に創設されたもので、今年度は24件の推薦の中から、厳正な審査の結果、2企業、1個人、2団体がグランプリとなりました。

特にCST様は、宮城県を拠点に全国2万社を超える顧客を有する等高い信頼と実績により、全国20か所を超える事業所を展開し、県内ソフトウェア業界の牽引役として寄与すると共に、福祉分野で新商品を開発する等、顕著な業績によ

る地域経済貢献が評価されたものです。

表彰については、県政だより県ホームページに掲載するほか、受賞者の活動を県庁ロビーや各合同庁舎でパネル展示により各界各層に広く周知することとしております。23年度も会員各位の積極的な応募参加を期待いたします。

富県宮城グランプリ	
企業部門	株式会社コンピュータシステム研究所、東北電子工業株式会社
個人部門	丸森仲吾
団体部門	奥州白石温麺協同組合、奥松島体験ネットワーク
富県宮城グランプリ特別賞	
個人部門	高橋 清文
団体部門	四季彩食松島推進協議会、スローフード気仙沼

## 第13回MISA親睦ボウリング大会

■開催日：平成22年10月22日(金)  
■場所：勝山ボウリングクラブ

毎年恒例の会員企業の若手社員を対象としたボウリング大会が開催されました。

19社20チーム60名が参加し、真剣にボウリングを極めるチーム、和気あいあいと楽しむチーム、熱狂的に盛り上がるチームなど各社各様のチームカラーがあり楽しい交流の輪が繰り広げられました。

【成績】(敬称略)

優勝：ハリウコミュニケーションズ(株)

準優勝：(株)サイエンティア

第3位：サイバーコム(株)



## 第19回MISA親睦ゴルフ大会

■開催日：平成22年10月16日(土)  
■場所：西仙台カントリークラブ

春と秋の年に2回行われるMISA親睦ゴルフ大会も今回19回となり、13組50名が参加し日頃の腕前を競い合い、和気あいあいと会員の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

【成績】(敬称略)

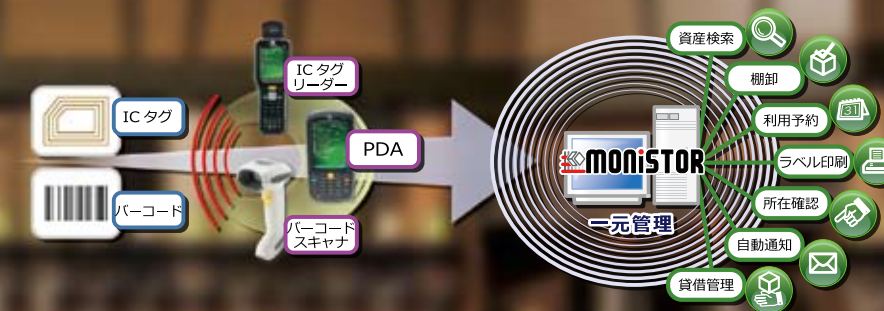
順位	氏名	グロス	ハンデ	ネット	会社名
優勝	穴沢 芳郎	(74)	(1.2)	(72.8)	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
準優勝	高橋 建	(80)	(7.2)	(72.8)	扶桑電通(株)
第3位	河野 稔	(93)	(19.2)	(73.8)	テクノ・マインド(株)
第4位	横山 義広	(93)	(19.2)	(73.8)	テクノウイング(株)
第5位	星 和浩	(90)	(15.6)	(74.4)	USOL東北(株)



## 資産・物品管理システム MONISTOR

<http://www.tss21.co.jp/monistor/>

棚卸・資産管理をRFID(無線ICタグ)・バーコードで実現するソフトウェアです。棚卸や持出・返却管理、利用スケジュールを管理し、企業資産の効率的な循環と有効活用へ導きます。



私たちが提案するトータルソリューションを通じて  
お客様の未来を創造するお手伝いをいたします

ONE STOP SOLUTION  
株式会社 東北システムズ・サポート



<http://www.tss21.co.jp/>

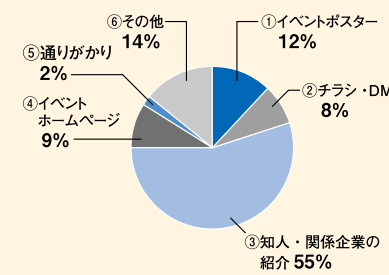
〒983-0021 仙台市宮城野区田子1丁目3-14 TSSビル  
TEL. 022-259-9804(代) FAX. 022-259-8222

# 東北ITソリューション EXPO 2010

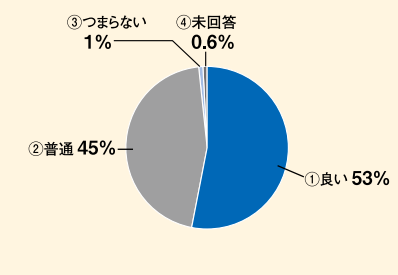
## グラフで見る結果報告

### 来場者アンケート (回答者:707)

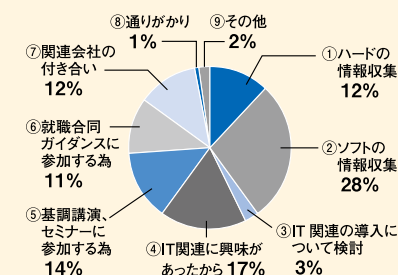
**Q1** 本フェアを何でお知りになりましたか? (複数回答可)



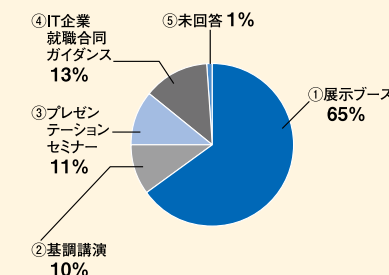
**Q2** 本フェアをご覧になっていかがだったでしょうか? (複数回答可)



**Q3** ご来場の目的は何ですか? (複数回答可)



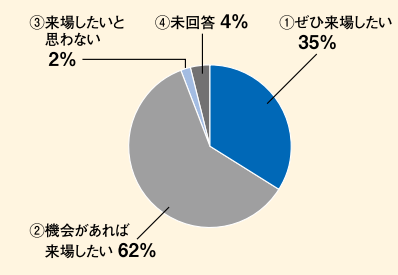
**Q4** どちらをご覧になりましたか? (参加されましたか?) (複数回答可)



**Q5** 興味を持った出展企業名をご回答下さい。(複数回答可)

- (株) 大塚商会
- 東北インフォメーション・システムズ(株)
- イトス(株)
- (株) 東北システムズ・サポート
- サイバーコム(株)
- テクノ・マインド(株)
- NEC ソフトウェア東北(株)
- ソラン東北(株)
- (株) シー・エス・イー
- (株) 菱友システムズ

**Q6** 次回も来場したいと思いますか?



**Q7** 当フェアについての感想・ご意見・ご要望をご記入ください。(一部抜粋)

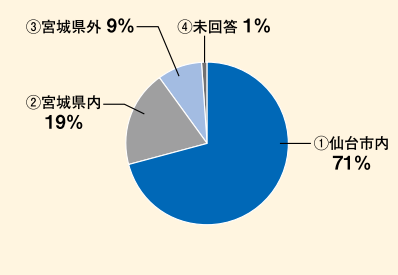
**ご感想**

- IT関連企業の情報収集が出来るので、来年も続けて欲しい。
- 各社で最先端技術に触れる事ができ、勉強になりました。
- 業界研究が足りなかったがガイダンスに参加し企業情報だけでなく、業界情報等も知る事が出来良かった。
- 直接社員の役員の方と話すことができ良い経験となった。
- 業界として、横の繋がりを作っていく上で、素晴らしい取り組みだと思います。
- このような貴重な機会に参加出来、とても有意義な時間を過ごすことができました。
- 前回は詳しく聞くことがありませんでしたが、今回は多くの企業さんの声を聞き非常に興味が湧くところも多く、充実した時間でした。
- 東北で事業展開している企業について知ることが出来てとても参考になった。
- とても見やすいブース配置でした。
- 今後はもっと大きい会場でより多くの企業が参加してほしいです。

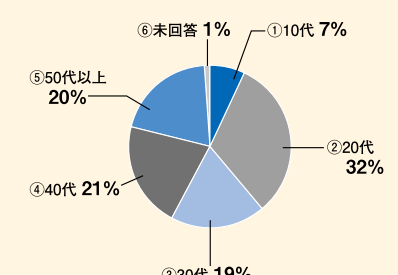
**ご意見・ご要望**

- 2日目も18:00までやって欲しい。
- 5Fの展示ブースは一般と学生に対する温度差がありすぎる。
- ブースはあるが担当者がいない、何も聞けない、分からない、コミュニケーションがIT業界でも大切だと思うが、人がいなければとりようがない。
- はつきり5F展示は一般向けにされてはどうか? ITの中でも業種別のコーナーもあれば嬉しい。
- アエル入口にも案内が欲しい。
- 会場が暗いので印象が悪く見える。ガイダンスの時、周りの音が少し気になりました。
- 同業他社の寄り合いになっている感じは否めない。
- 参加企業が少ない。もっと助成すべき。
- 展示ブースは整然とした印象ですが、一面で活気が足りないような感じも。集客の問題なのか、レイアウトの問題なのか分かりませんが、業界外の人にも来てみたい、のぞいてみたいと思わせる何か足りないのではないかと感じます。
- プレゼントが欲しい。

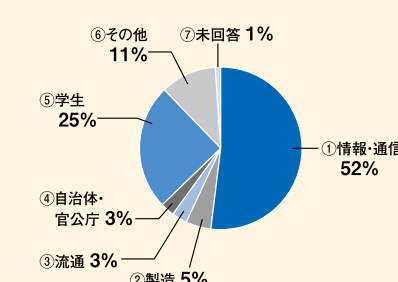
**Q8** お住まい



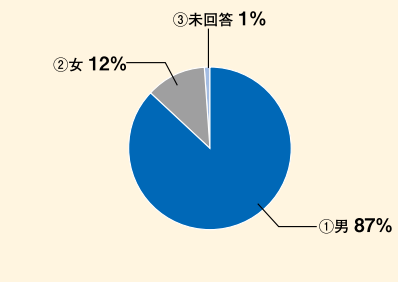
**Q9** 年齢



**Q10** 職業 (ジャンル)

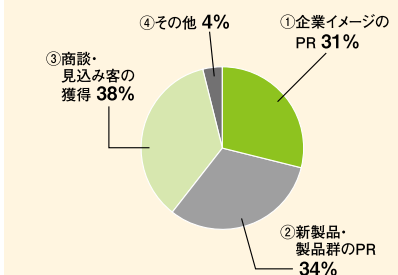


**Q11** 性別

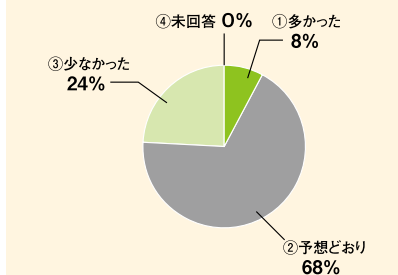


### 出展者アンケート(回答者:37社)

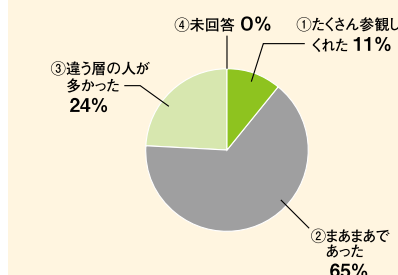
**Q1** 貴社が本展に出展した意図目的は?



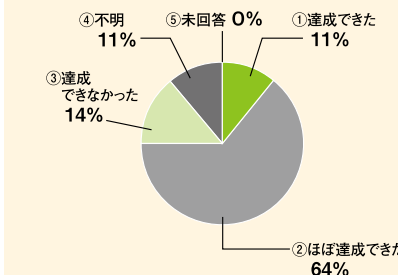
**Q2** 本展の参観者数について



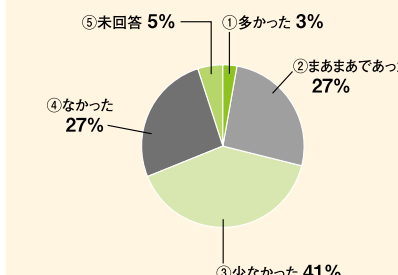
**Q3** 貴社が期待した業種・規模・層の参加者について



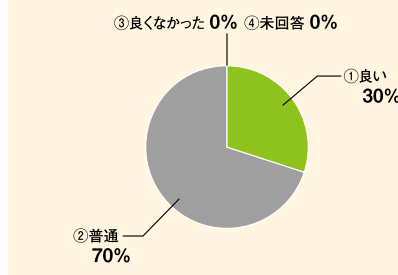
**Q4** 出展の意図目的は、達成できましたか?



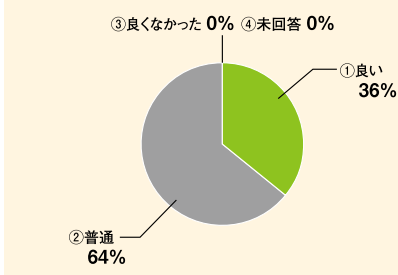
**Q5** 実質的な商談に結びつく可能性の成果について



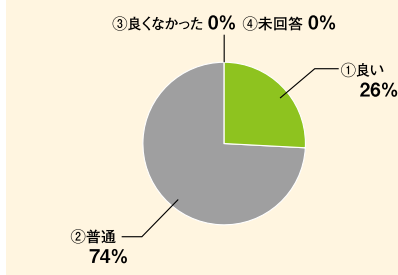
**Q6-1** 企業ブース以外のコーナーについて【基調講演】



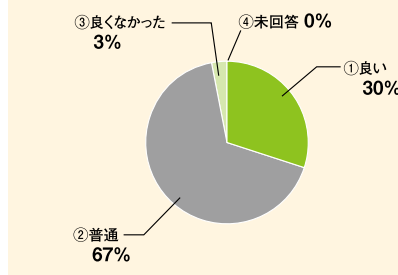
**Q6-2** 企業ブース以外のコーナーについて【プレゼンテーションセミナー】



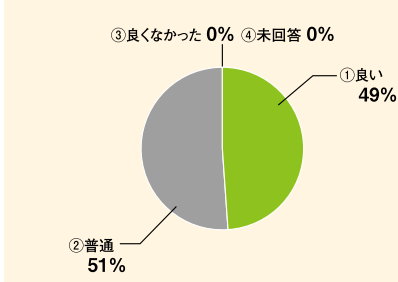
**Q6-3** 企業ブース以外のコーナーについて【就職合同ガイダンス】



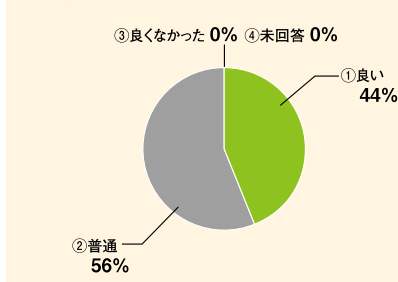
**Q7** 会場内展示装飾、設備内容について



**Q8** 会場の運営について



**Q9** 案内物について



**ご意見・ご感想**

- セミナーからの商品の問い合わせが多く、とても良かったです。
- 昨年より参観者の層が異なつたように思える。もう少し様々な業種の人が来てもらえるようにしてもらいたいと思います。
- 予想通り、IT関係企業と学生が主で見込み客の獲得は難しいと感じた。
- カテゴリ別、ソリューション内容別にブースを固めた方が、来客者は展示内容の把握がしやすいと思う。
- 基調講演に関して、事前の案内(広告・宣伝)が非常に足りなかったと思われるので、次回以降、検討の上、ご対応いただきたい。(講師が著者な方だっただけに…)



## 新入会員紹介 (平成22年10月1日以降)

正会員-入会 賛助会員-入会  
会員数 (正会員・・・149社 賛助会員・・・27社)

入会日	会員名 (代表者名)	住所 TEL・FAX
10月12日	(株) エヌ・シーエス (代表取締役社長 江戸 利幸)	〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-32 パセオ5F TEL 022-227-7875 FAX 022-227-7876
11月30日	コンピューターマネージメント(株) (代表取締役社長 竹中 勝昭)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20 KDXビル505号 TEL 022-714-6550 FAX 022-298-1934
4月1日	(株) アイソリューションズ (代表取締役社長 大友 馨)	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-45 TEL 022-781-9047 FAX 022-292-7661
4月1日	(株) YSLソリューション東北事業所 (事業所長 田口 英治)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20 KDX仙台ビル2F TEL 022-222-2591 FAX 022-222-2545
4月1日	(有) メイシステムズ (取締役 槻田 雅之)	〒981-3622 黒川郡大和町もみじヶ丘3-19-6 TEL 022-358-8486 FAX 022-358-8486
4月1日	コムリーディング(株) (代表取締役 加藤 浩)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアヒルズ TEL 022-385-7452 FAX 022-385-7453
4月1日	高橋やすひこ営業塾 (代表 高橋 保彦)	〒981-3122 仙台市泉区加茂4-24-8 TEL 022-378-3393 FAX 022-378-3393
4月1日	(有) コムサイト (代表取締役 大浦 和男)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山5-6-506 TEL 022-303-6270 FAX 022-303-6271

## 皆で飾ろう！MISA情報誌！

MISA情報誌の表紙を飾る、写真を会員の皆様から募集します。  
情報誌は初春・初秋の年2回発行の予定です。  
「撮っておき」の写真をお待ち致しております。

### 募集要項

- ・募集テーマ：「季節感あふれる東北の風景」、街並み、祭り、イベントなど。
- ・作品サイズ：キャビネ版サイズのプリントまたは、

600万画素以上のデジタルカメラでフルサイズで撮影、必ずカラープリントまたは、コピーを添付して下さい。

- ・応募締切日：随時。
- ・審査方法：事務局・企画・広報委員会メンバーの投票で決定。
- ・発表：事務局から本人へ直接ご連絡いたします。
- ・謝礼：5,000円相当の商品券。

### 編集後記

2011年3月11日、私達にとって経験した事のない大災害が東北・関東一帯を襲いました。大地震・大津波による被害は過去に例を見ない程で、日本中が悲しみに包まれました。

この大災害によって被災された皆様、関係者の皆様へお見舞い申し上げます。

また、一日も早く穏やかな日常が戻って来る事を心よりお祈りいたします。

震災直後ですが、帰宅する途中の交差点で「愛知県」と書かれたジャンパーを着た複数の方を見かけました。その方たちは「お腹がすいた」と言っていました。

遠いところから復旧に向けて駆け付け尽力される方々を見て心が熱くなりました。

これからもこの気持ちを忘れずに感謝の気持ちを持ち続けたいと思います。

また、自然は何事もなかった様に過ぎて行きます。今年も桜前線が通り過ぎ、見事な花を見せてくれました。桜が教えてくれているのか「冬来たりなば春遠からじ」。

悪いことばかりではない、必ずや良い事もやってくると言う事だと思いますので私達も全力を尽くして邁進したいと思います。元気を発信して行きましょう。(我妻)